

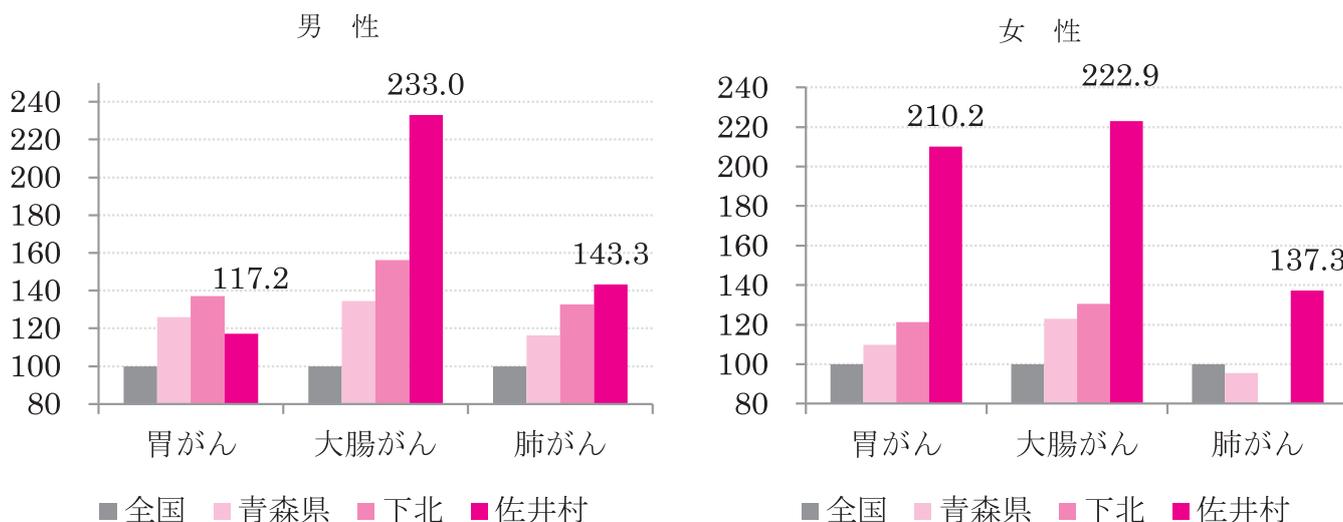


精密検査は必ず受けましょう ～がん検診 愛する家族への 贈り物の～

がんは正常な細胞ががん細胞に変わることから始まります。1 cm以上の大きさにならないと発見は困難ですが、1 cmのがんは1年半ほどで2 cmのがんになります。この1 cm～2 cmの間の早期がんを見つけるためには検診を1、2年ごとに受ける必要があります。

毎年何気なく受けているがん検診ですが、がん検診の目的は、がんを早期発見し適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。

それでは、佐井村のがんによる死亡状況を全国、青森県、下北管内と比べてみましょう。



これは、平成23年～27年の悪性新生物標準化死亡比（SMR）※です。すべてのがんにおいて男女ともに全国水準より死亡率が高くなっています。特に大腸がんの死亡率は男女とも全国・青森県・下北と比べ倍以上高くなっている状況です。

※標準化死亡比（SMR）とは

年齢構成の違いの影響を除いて死亡状況を表すもので、地域を比較するために用いられる統計指標です。全国を100とし、標準化死亡比が100より大きい場合、その地域の死亡率は全国より高いと判断され、100より小さい場合は全国より低いと判断されるものです。

胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんはがん検診を受けると死亡率の減少に効果があることが科学的な方法によって証明されています。

しかし、がん検診を受けただけでは死亡率は下がりません。精密検査が必要と判定されたら、放置せずに医療機関で精密検査を受けなければ検診を受けた意味はありません。がん検診で精密検査が必要と判定されたということは「がんの疑いを含め異常（病気）がありそうですよ」と判断されたということです。

「症状がない」「健康だから」といった理由で精密検査を受けないことは、がん検診で見つかるはずのがんを放置してしまうことになります。要精密検査と判定された方でまだ検査を受けていない方は、必ず精密検査を受けてください。